

どのむかしばなしかな？④

なまえ

むかしばなしのあらすじと、ただし「だいめい」をせんでむすびましょう

1

としよりのきこりとわかいきこりがやまできをきっていました。そのやまは「まもの」がでるといいうわさがあり、としよりのきこりは「まもの」がでないかとけいかいしていました。

ぶんぶくちやがま

2

あめがふるたびにながれてしまふはしがありました。むらびとたちからはしをつくるようにたのまれました。おまえのめだまといひきかえにはしをつくってやる」といひ、はしをつくってしまいました。

うしおにぶち

3

おちやのかまにへんしんしていた「たぬき」がひよんなことからまずしいおとこにひきとつてもらい、つなわたりなどのげいを見せ、おかねをかせぎ、おとこはおかねもちになりました。

だいくとおにろく

4

こころやさしいおじいさんといじわるなおばあさんがくらしていました。あるひ、おじいさんがはたけからいへもどるとちゆう、けがをしているどうぶつをみつけました。かわいそうにおもったおじいさんはいえにつれていき、あてをしてあげました。

したきりすずめ

